

音更町総合計画審議会会議結果（要旨）

会議名	音更町総合計画審議会 総務部会（第4回）
開催日時	平成27年9月30日（水） 午後7時から午後8時20分
開催場所	音更町役場2階 第1・第2委員会室
委員出席者	高山部会長、茂古沼部会長代理、有賀委員、小川委員、杉原委員、津久井委員、二瓶委員、鳴海委員、原谷委員
事務局出席者	杉本総務部長、傳法企画財政部長、村瀬総務課長、渡辺企画課長、佐藤広報広聴課長、吉田財政課長、川瀬総務課参事（職員担当）、小塩情報・防災課長、福井税務課長、松井収納課長、金谷会計管理者、原尾出納室長、高田監査事務局長、八鍬議会事務局総務課長、鷲北消防長、高山音更消防署長（兼消防課長）、永谷消防本部総務課長、九本消防本部企画課長、市川音更消防署警防課長、西岡企画調整係長、高田企画調整係主任
議題・諮問内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 部会長あいさつ 2 会議の進行等について 3 議件 （1）音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略について 4 その他 ・今後の審議会の内容及び日程等について
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系 ・音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略の考え方 ・音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略の各施策と第5期総合計画基本計画との関連 ・第5期総合計画後期基本計画見直し案（総合計画審議会専門部会資料）
会議結果	下記のとおり
出された 主な意見等	<p>■音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略について</p> <p>委員：十勝川温泉の流動人口の推移とあるが、訪問者の数という理解でよろしいか。</p> <p>事務局：入ってくる人と出てくる人の両方の動き。動いている人をずっと追ってカウントしている。</p> <p>委員：指標ごとで読み方が違うのでKPIについてわかりやすい表現をしていただきたい。</p> <p>事務局：表現を工夫させてもらう。</p> <p>委員：介護福祉専攻の学生の就学サポートがイコール高齢者も移住定住しやすい環境づくりにどうつながるのか。</p> <p>事務局：結局、介護する人がいなければ介護施設も成り立たず、介護する人を増やせば介護施設も成り立って安心して介護施設に入れるだろうということ。</p> <p>委員：お金の支援はするが、音更町の介護施設に勤めてもらわなくてもいいということか。</p> <p>事務局：施設の数も限られており、十勝全体で取り組むよう持っていきたいところだが、音更が率先して取り組んでいる。</p> <p>委員：外国人観光客強化事業について、実際に外国人が来た場合にかなり困ることがあるので、受け入れる側として、単にアピールして来てもらう数だけのことを考えるのではなく、来た時にどう対応するかまでどのように考えているか。言葉も何も通じずに、トイレを借りる時も何も言わずに土足で入ってくるイメージ。そこを考えると外国人に十勝川温泉を利用していただくのは、経済効果としては高くなると思うが、準備ができていなくて人が急に増えると、逆に日</p>

本人が減ってしまうことも考えられる。

事務局：外国人客のために看板を標記するとか、ホテルの中に通訳の方をおくサービスはあるが、トラブルがあるのは否めない。観光キャンペーンで売り込んでくるが、その時に情報がいきわたっていないということもあるので、担当の方にもこういった問題もあり活かしてほしいということで伝えておきたい。

委員：移住促進協議会などの公的機関を活用した移住件数が5年間で100件というのはかなり大きな数値だと思う。ふたを開けてみて5年後にみたら、100件ではなく例えば20件しかなかったということが起こっても問題はないか。

事務局：ペナルティはないが、だから何でもいいということではない。目標値が高いのではないかとということがあれば訂正する。

委員：子育てしやすい環境を充実させるというのは、公園が多いということもあると思うが、子育てをするのにお金がかかるので、その辺の手当を行政が支援してくれるということか。

事務局：今年度から保育料についてはすべての階層で軽減しており、具体的な事業のところでは保育料軽減事業を書き込んでいる。あとは、子育て世帯の方が公営住宅に申し込まれても抽選で入れない人を優先して、公営住宅と同じ規模の民間住宅をあっせんし、結果的に同じ費用で入れる事業も行っており、応援するものはこの中に書き込んでいる。他の町では、中学校までは医療費を無料にするとか、高校まで給食費を無料にすると立ち上げているが、今のところ本町では考えていない。

※専門部会の開催は今回が最後で、今後は必要に応じ部会長会議で調整するものとして了承された。